

2024年（令和6年）

12月定例会

- 12月定例会審議結果 …… 1
- 12月定例会一般質問
（町政をただす） …… 3
- あれからどうなった？
（一般質問のその後は） …… 13

石川町 議会 です

こんにちは

発行／石川町議会

編集／広報常任委員会



みんなでつくった
だんごさし

石川町議会
ホームページ



写真／やどかり保育園

No. 225

令和7年
2月1日

12月 定例会

令和6年12月定例会は、5日から12日までの8日間の会期で開かれ、条例案件7件、補正予算関係7件、路線の町道認定1件、契約締結2件の合計17件を審議しました。

一般質問には9人の議員が登壇し、83人の傍聴者がありました。



工事が進む認定こども園(令和6年11月末時点)

石川町認定こども園建築工事請負 変更契約の締結など全議案を可決

契約締結

◆議案第80号

石川町認定こども園
備品購入契約の締結
について

令和7年4月の石川町認定こども園の開園に合わせ、園内で使用する机、椅子、収納棚等の購入を行うため、制限付き一般競争入札を実施した結果、1463万円で有限会社社みよし堂と購入契約を締結するものであり、審議の結果、全員異議なく可決されました。

◆議案第81号

石川町認定こども園
建築工事請負変更契
約の締結について

付帯工事の発注の遅れ等による工期の延長に伴い、請負金額を1306万8千円増額し、8億5148万8千円に変更するものであり、審議の結果、全員異議なく可決されました。

議案 審議結果

全議案が全会一致で承認・可決されました

議案番号	議案
議案 第65号	石川町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例
議案 第66号	石川町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
議案 第67号	石川町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案 第68号	石川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案 第69号	石川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
議案 第70号	石川町営住宅等条例の一部を改正する条例
議案 第71号	石川町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
議案 第72号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度石川町一般会計補正予算－第4号）
議案 第73号	令和6年度石川町一般会計補正予算（第5号）
議案 第74号	令和6年度石川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案 第75号	令和6年度石川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案 第76号	令和6年度石川町介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案 第77号	令和6年度石川町宅地造成事業特別会計補正予算（第2号）
議案 第78号	令和6年度石川町水道事業会計補正予算（第2号）
議案 第79号	路線の町道認定について
議案 第80号	石川町認定こども園備品購入契約の締結について
議案 第81号	石川町認定こども園建築工事請負変更契約の締結について

【専決処分】

第50回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を執行するために必要となる人件費及び事務費について、県支出金を財源に1105万4千円を補正。

一般会計補正 予算の主なもの

今回の補正は、本年度予定していた事業の完了に伴い、不用となる経費を減額する一方、除雪に必要となる経費に1455万円、防災士の資格取得を目指す方を支援するための経費として100万円、物価や原材料価格の高騰に伴う小中学校の給食費補助金の増額分として225万4千円を計上するほか、福島県人事委員会勧告に基づく職員

給与等の改定に伴い、人件費などを増額計上したもので、歳入歳出それぞれ1億255万4千円を追加し、既定予算と合わせて歳入歳出予算の総額を88億8376万円としたものです。

宅地造成事業 特別会計

矢ノ目田団地 を造成

矢ノ目田地内の旧雇用促進住宅石川宿舎跡地において、住宅団地造成事業を行うため、町債を財源として1億8000万円を補正。

審議の経過については、こちらをご覧ください。

令和6年
12月定例会
(最終日)



一般質問 町政をたただす

菊池美知男 議員

P4

- ◆まちなか再生行動計画書について
- ◆安心して暮らせる環境の整備について
- ◆農業振興について



根本 重泰 議員

P5

- ◆認定こども園について
- ◆文教地区の魅力づくりについて



角田 保寿 議員

P6

- ◆町長の考える町民第一主義について
- ◆防災無線による火災発生時の放送について
- ◆普通河川の整備について



星 恵子 議員

P7

- ◆子どもを取り巻く課題および支援策について
- ◆石川町の活力や知名度アップに向けた横断的かつ総合的諸計画や具体的支援策について



水野谷常子 議員

P8

- ◆閉校後の野木沢小学校の利活用について
- ◆防災対策について



乾 初美 議員

P9

- ◆5歳児健診の導入について
- ◆良好な職場環境と職員の勤務実態について



瀬谷 寿一 議員

P10

- ◆本町森林の適正管理の取り組みについて
- ◆浄水場改修事業と今後の水道事業について



瀬谷 京子 議員

P11

- ◆人口流出と働く場の確保について
- ◆道の駅整備事業について
- ◆女性管理職の登用について



鈴木 義延 議員

P12

- ◆畜産振興の取り組みについて
- ◆防災訓練について
- ◆選挙投票率の向上と投票所の見直しについて



一般質問は、町政全般にわたって町の行政事務の状況や将来に対する方針などをたただすもので、定例会に限って行われます。今回は9名が登壇し、町の考えを尋ねました。

※紙面の都合上、質問と答弁を要約してお知らせします。(質問の一部を割愛しています。)
詳細については、各議員のタイトルの横の二次元コードを読み込むと、録画映像によりご覧いただけます。

Q 夜間や休日の緊急事態発生時 町の体制は



質問者の動画が見られます

A 組織的に対応できる取り組みを進めます



きくち みちお
菊池美知男 議員

◆まちなか再生行動計画書について

質問 石川町はかつて2万人以上の人口を有し、石川郡の中心をなしてきた。本町が、かつての賑わいを取り戻すためには、しっかりとした計画書に基づく振興策が必要と考える。まちなか再生行動計画を見直しに向けた、まちなか再生委員会での事業の検証状況は。

答弁 今後まちなかで起こり得る諸課題について、二・三十代の若者とワークショップを開催しながら、まちなか再生委員会において

協議を継続しているところですが。

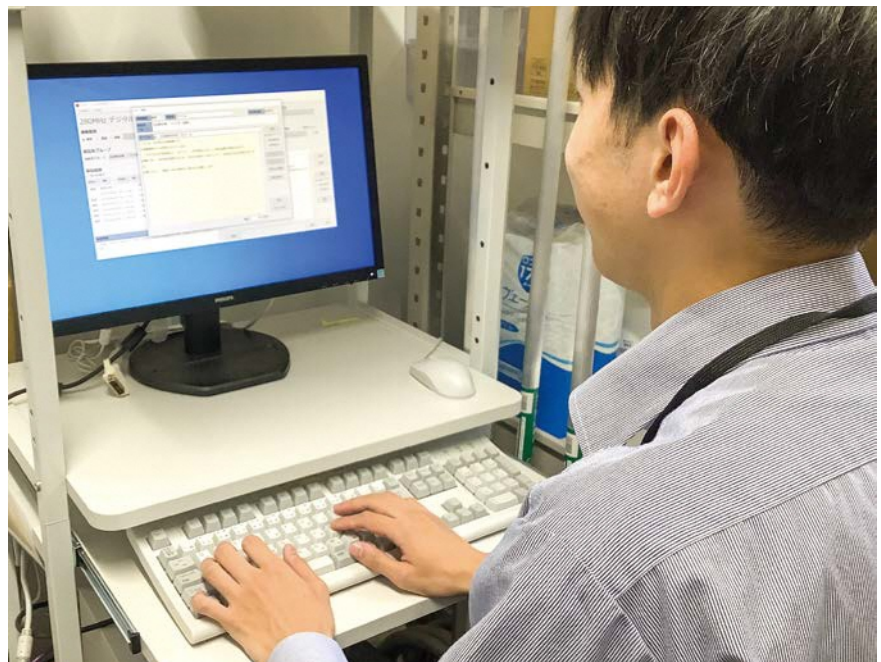
◆安心して暮らせる環境の整備について

質問 不安のない生活を送るため、夜間や休日でもすぐに対応する行政窓口や、危険箇所の速やかな改善が必要と考える。緊急事態発生時の連絡体制は。

答弁 日直において防災行政無線の配信操作が行えるよう体制を整えていくほか、休日等における各課の緊急連絡先を備え付けるなどの必要な改善策を講じてまいります。

◆損傷が進む歩道の整備について

質問 歩道の歩道については、道路パトロールを実施し随時修繕を行い、県道の歩道については、県に対して引き続き強く要望してま



緊急時の防災行政無線はここから「アナウンサー」は機械の合成音でした

◆農業振興について

質問 農業再生には、人手不足や重労働などの課題解決が必要であり、先進技術の導入はその一端を担うと考え

ります。^{*}スマート農業導入に特化した支援の考え方は。

答弁 今後どういった支援を求めるかなど、アンケート調査等を行い、補助事業等の必要性などを検討してまいります。

Q 認定こども園建設の進捗状況は



質問者の動画が見られます

A 4月開園、3月中旬以降に内覧会を予定



ねもと しげやす
根本 重泰 議員

町民にとって、魅力ある文教地区になっしてほしい

◆認定こども園について

質問 職員体制は。

答弁 園長、副園長、保育教諭及び看護師の配置を予定。土曜保育、延長保育、子育て支援事業、特別な支援が必要な園児への対応などのため、国の配置基準を超える配置を予定しています。

質問 建設場所での議論になった石尊山・転石の安全対策は。

答弁 今後、大きな地震や線状降水帯が発生して大雨が降ったような場合、状況により専門業者に点検してもらうなど、安全面には配慮していきたいと考えています。

質問 進入路が凍結しないよう、冬場の日陰対策は。

答弁 日陰対策として木の伐採ができないか地権者の方へ意向確認を行うておりますが、伐採による対策にも限度があるので、今後も効果的な対策の検討を進めてまいります。木の伐採のため、地権者との交渉状況によつては、私（町長）自身も前に出て交渉できればと考えています。

◆文教地区の魅力づくりについて

質問 文教地区の魅力

づくりは。
答弁 子どもたちの交流がより展開しやすい環境となり、日常から幼児、児童、生徒、地域の方々がつながる活気ある空間になることが期待されます。

質問 こども園送迎時の安全確保は。

答弁 学校周辺では、登校時に教職員による立哨（交通整理と安全見守り）を行っておりますが、令和7年度からは小学校と認定こども園の入り口に立哨員の配置を考えています。

質問 今出川改修工事に伴う、南町から商工会館前までの道路工事を早められないか。

答弁 これまでも県に対し要望を行っておりますが、河川改修の本来の目的であ

る、防災、洪水対策と併せて、同地区の交通安全対策という視点から、より一層、要望をしていきたいと思っております。



こども園・小中学校・放課後児童クラブ・モトガッコ・図書館と多様な町民の学びの場となります

Q 新町長の所信等とは



質問者の動画が見られます

A 「町民第一主義」で町政運営にあたってまいります



かくた やすじ
角田 保寿 議員

◆町長の考える町民第一主義について

質問 首藤町長は令和6年6月の町長選挙において、町民第一主義を掲げ当選したが、町長が考える町民第一主義とは何か。

答弁 町民の目線に立ち、町民のニーズや利益を最優先に考え、町民のための政治をすることにより、町民満足度を高めていくことであり、こうした考えに基づき施策について、十分納得していただけるような言葉と活字を用いて丁寧に説明していくことが重要です。最

後には、為政者として、すべての決断や結果に対して、私が責任を果たしていくことになる。こうした覚悟をもって、町政運営にあたってまいります。

◆副町長任命の考え方について

答弁 町長選挙出馬に向け、私とその職を辞して以来不在期間が続いています。現時点では白紙の状態ですが、年度内には選任できるような熟慮してまいります。

◆防災無線による火災発生時の放送について

質問 字名までの放送となつた経緯と、具体的な地番まで放送する考えについて。

答弁 火災種別情報や呼び名を含めた地名情報など、放送される音声情報は、防災ラジオ



町貸与の防災ラジオ

1台ごとに設定する必要があるほか、地番情報は14万筆を超えること、さらには、分筆や合筆などの異動への対応は困難なことから、字名までの放送としました。

また、火災発生時に関係者以外の方が現場付近へ立ち入ることで生じる交通障害や二次被害の防止など、安全管理上の考え方を優先するため、現時点では地番まで放送する考えはありません。

◆普通河川の整備について

質問 町内を流れる普

通河川（町管理）の点検状況・危険箇所の変更計画について

答弁 河川の点検については、道路パトロールと併せて常時目視点検を実施していますが、台風や豪雨等により川底が侵食されている箇所や下流域の流れが遅い箇所では、土砂が堆積している状況です。

このことから町では、浚渫工事を実施し、堀田川等の流水能力の確保に努めてきたところです。今後も引き続き実施し、適切な河川管理と水害対策に取り組んでまいります。



堀田川

Q CAP(子どもへの暴力防止)プログラムの活用について



質問者の動画が見られます

A 有効な人権プログラムであり、積極的な活用を図ります



ほし けいこ 議員

◆子どもを取り巻く課題および支援策について

質問 スクールカウンセラーの活用状況について。

答弁 令和6年11月末までに小学校84件、中学校71件の相談利用がありました。

質問 スクールソーシャルワーカー(SW)の配置について。

答弁 今年度から社会福祉

士を採用し、教育委員会と連携しながら対応しています。

質問 CAP(子どもへの暴力防止)プログラムのような、理論と実践に裏づけされた外部の力を借りることは、不登校やいじめなどへの予防的措置としても有効だと考えるが。

答弁 有効な人権プログラムだと考えており、

積極的な活用を図っていきます。

◆石川町の活力や知名度アップに向けた横断的かつ総合的諸計画や具体的支援策について

質問 歴史民俗資料館

イシニクルのPRと今後の取り組みについて

答弁 今後も企画展やワークショップを開催し、SNS等でPRしていきます。

業を開始しており、今後も、町の魅力発信や地域経済の活性化に向け、連携して取り組んでいきます。

質問 町章、施設の名称やロゴマークの商標登録および使用について。

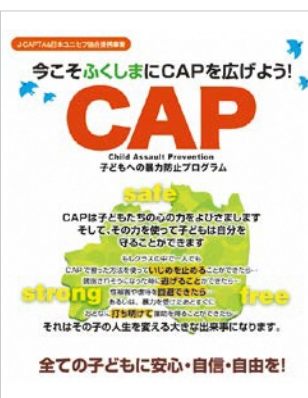
答弁 イシニクルのロゴマークの商標登録や使用規程の制定を進めます。

質問 地域資源、地域素材、人材を生かしたコラボレーションについて。

答弁 本町には魅力ある資源が数多く存在しています。今後も、コラボレーションにより町の魅力を広く発信していきたいと考えます。

要望 高校生の力も生かしてほしい。

役場前に設置されている看板



県作成のCAPの資料・表紙



質問 地域商社サクライズと町との連携について。

答弁 4月から事

答弁 一部改修するか撤去するか、総合的に判断していきます。

Q 野木沢小学校の閉校後の利活用は



質問者の動画が見られます

A 「廃校施設の利活用に関する基本方針」に基づき検討を行います



みずの やつね こ
水野谷常子 議員

◆閉校後の野木沢小学校の利活用について

質問 町が野木沢小学校校舎等を維持管理していく場合の費用は。

答弁 利活用方針が決定するまでの間、施設を管理するための保険や警備に伴う費用、また、地域の方々が引き続きスポーツ等で学校の体育館を利用するための光熱水費のほか、除草など周辺の環境整備費用などが必要になります。

質問 利活用の検討状況と地域からの要望等は。



令和7年3月で閉校となる野木沢小学校

答弁 閉校後の令和7年度から、一廃校施設の利活用に関する基本方針に基づき、公的施設としての利活用の検討を行い、それがなければ、地域や民間による利活用について検討することになります。また、地域からは、地域の活動の場として有効に活用してほしいとの意見はあったものの、具体的な要望は出ていません。

◆防災対策について

質問 要支援者を含めた町民の安否確認マニュアルの整備状況について。

答弁 マニュアルは作

成していませんが、災害時の安否確認は関係機関に協力を得て実施すると定めています。災害発生時に自ら避難することが困難な方の安否確認は優先しなければならぬことから、マニュアル整備は有効と考えます。

また、避難行動要支援者のうち、浸水エリアに居住する方の個別避難計画の作成を、令和7年度完成を目的に進めていく予定です。

質問 災害に対する備蓄物資の保有状況は。

答弁 立ヶ岡、渡里沢、総合体育館などの倉庫に、避難所用品や非常食のほか、ブルーシー



防災訓練(消防団による土のう作り)の様子

トなどの防災資機材を備蓄しています。また、各自治センターやモトガッコにも、災害時に必要な資材を分散して保管しています。

質問 民間事業者等との協定の締結状況について。

答弁 人的資源、応急復旧に関する分野では、災害時における建設機材・資材及び作業員の派遣協力等を石川町建設協力会と、建設機械やトイレ設備等の優先確保を㈱東リースなど5事業者、電気、ガス等のライフラインの分野では、東北電力ネットワーク、(株)八幡屋、福島県LPガス協会ほか5事業者、物資の供給協力協定では、神田産業(株)やコトブキシーティング(株)など、19事業者と協定を締結しています。



質問者の動画が見られます

Q 5歳児健診の導入について、時期は

A 令和7年度の実施に向け準備を進めているところです



いぬい はつみ 乾 初美 議員

◆5歳児健診の導入について

質問 小児科健診医の確保は。

答弁 医師が確保できない場合に備え「相談会」という形でのモデル事業の実施等についても検討しています。

質問 5歳児健診や相談会を実施する場合の方式は個別か集団か。

答弁 集団方式は、ほかの子との関わりから社会性の発達を確認できることや、多職種による保護者への保健指導等を一括で提供できるメリットがあること

から、町では集団方式を考えています。

質問 具体的に多職種とは。

答弁 保健師、看護師、管理栄養士、社会福祉士、保育士、指導主事、委託で臨床心理士、さらには支援学校にも参加協力をお願いする予定です。

質問 検診後のフォローアップ体制が脆弱という課題があるが、どのように進めていくのか。

答弁 保健、医療、福祉、教育の各分野の連携が必要ですが、特に医療分野で、発達障害等に対応できる医師不足により診療が受けられないことが課題で、県内同じ状況です。町では、郡医師会や近隣医療機関と医師確保の調整等を行っています。今後、今後も体制整備等

について協議、相談等を行ってまいります。

意見 福祉と教育が密に連携したチーム支援を石川モデルとし、子どもと保護者が安心して生活を送れるような適切な支援を！

◆良好な職場環境と職員の勤務実態について

質問 今年度、職員からのハラスメントの通報等は何件あったか。

答弁 3件ありました。

質問 職員のハラスメント防止対策状況は。

答弁 全職員を対象に年1回ハラスメント防止研修会を開催しているほか、リーフレットの配付により、周知を図っています。

意見 「ハラスメントは、しない、させない、見逃さない、許さない」

の徹底を！

質問 職員の勤務時間内の喫煙は認めているのか。

答弁 原則禁止です。

質問 正午から1時間の休憩時間以外の喫煙は認めないのであれば、きちんとルール化すべきではないか。

答弁 現在明確なルールは無く、注意喚起にとどまっていますが、ルール化については今後検討してまいります。



石川町役場敷地内の特定屋外喫煙場所

Q 水道料金の改定はあるのか



質問者の動画が見られます

A 経営戦略で母畑浄水場改修後15%程度の値上げを計画



せや としかず
瀬谷 寿一 議員

◆本町森林の適正管理の取り組みについて

質問 町長の公約である脱炭素の取り組みと森林管理の関連は。

答弁 森林を適正に管理することでCO₂吸収量を増加させ、増加分をクレジット（J-クレジット）として販売し、そこで得た収入で森林を維持管理するという、森林管理と環境問題を一体的に進めるという考え方です。

質問 最近、大規模な森林伐採が目立つが、町の指導は。

答弁 針葉樹であれば、



森林更新が遅れ、急ピッチで進む双里地区の樹木伐採

伐採届と同時に造林計画の提出を求めています。山林の場所により、近くに広葉樹があれば天然更新も認めています。

5年間の間に天然更新しない場合、造林を求めることになります。

質問 現在の造林補助を活用しても、1ヘクタール当たり約50万円の負担が生じる。森林所有者が意欲を持てる手厚い支援が必要だ。

答弁 補助が少額であることは認識しています。森林環境贈与税は森林整備にも使えることになっていて、今後活用を検討していきたいと考えています。

質問 伐採後の造林で、杉は下刈りや間伐などの管理が必要となるため、広葉樹へ転換してはどうか。

答弁 杉を伐採して広葉樹を植えることは、法的にも問題はありません。しかし、杉も貴重な町の資源になりますので、バランスを考えながら検討したいと思います。

質問 3年前にも質問しましたが、いまだ配置されない「地域林政アドバイザー」はどうなっているのか。

答弁 福島県に令和3年度から毎年要望をしています。残念ながら雇用には至っていません。

◆浄水場改修事業と今後の水道事業について

質問 水道事業への一般会計からの繰り入れ

は。
答弁 統合前の簡易水道事業償還金に充てるため、浄水場改修事業に対し一般会計から出資金を繰り入れています。

質問 来年度の老朽配水管の更新計画は。

答弁 令和7年度は、白石地区300メートルの更新を計画しています。

意見 老朽配水管の延長は、8千メートルにもなり、10年計画で1年800メートルです。町内水道業者を育成する上でも計画延長の増と継続的な事業展開が必要です。



更なる浄水能力の向上が課題

Q 人口流出の抑止には働く場の確保が急務だが



質問者の動画が見られます

A 産業用地の造成を検討しながら トップセールスで誘致活動を行います



せや きょうこ 議員
瀬谷 京子

◆人口流出と働く場の確保について

【質問】 町民の町外への転出者数は。

【答弁】 過去5年間の転出者数は、令和元年に476名、2年484名、3年448名、4年432名、5年372名でいずれの年度も県外が4割、県内が6割程です。

【質問】 県内の主な転出先と要因は。

【答弁】 郡山市が229名、次いで須賀川

市202名、福島市15名、白河市100名、いわき市94名と都市部への流出が顕著です。

【質問】 近隣町村の企業数比較は。

【答弁】 (令和3年経済センサス) 本町628社、棚倉町538社、矢吹町516社、鏡石

町376社、玉川村232社、浅川町227社であり、これらの町村では製造業が多いですが、人口流出の多い都市部では多様な産業で雇用機会が創出されています。

【質問】 道の駅整備事業について

【答弁】 現状は。

第7回 石川町 企業合同説明会

高校生のための

◆場所 母崎温泉 八幡屋

町内企業 24社 参加予定

◆対象 高校3年生

6月12日(水)

開始時間 13:30~15:30

主催：石川町

共催：石川町中小企業、小規模企業振興会

協賛：パルワールド酒類川

お問い合わせ先：〒963-7823 石川町字松久保 105-4 石川町健康 企業振興課 E-mail: syouko_k@town.ishikawa.fukushima.jp TEL: 0247-28-9113

高校主に町内の就職先を紹介する「企業合同説明会」の案内

【質問】 追加事業費の内訳と財源は。

【答弁】 2億900万円

【質問】 進捗状況は。

【答弁】 資材高騰により、工事費の最終的な精査をしています。

【質問】 女性活躍の観点から、職員の構成や組織運営の観点から、男女分け隔てない登用が欠かせないものと認識しています。

【答弁】 女性活躍の観点から、職員の構成や組織運営の観点から、男女分け隔てない登用が欠かせないものと認識しています。

【質問】 女性管理職の登用に

【答弁】 本町の職員数は、現在148名(男85女63)で約4割が女性職員です。そのうち女性管理職は、主幹及び課長補佐職の10名で管理職全体の3割程ですが、10年前の5人からは倍増しています。

【質問】 女性管理職の登用に

【答弁】 女性管理職は令和4年度以降おりません。

Q 飼料価格高騰を踏まえた支援の継続は



質問者の動画が見られます

A 社会情勢のほか国や県、他市町村の動向を注視しながら検討してまいります



すずき よしのぶ 鈴木 義延 議員

◆畜産振興の取り組みについて

質問 米価上昇による、来年度の稲ホールクロップサイレージ作付け面積への影響は。

答弁 来年度は、主食用米の作付け面積が拡大し、稲ホールクロップサイレージが減少することが懸念されます。しかしながら、飼料高騰の影響を受ける畜産農家への供給は必要なことから、関係機関と連携し、作付けの推進を図ってまいります。

質問 肉用繁殖牛飼養戸数及び頭数の減少に



町の畜産農家さん

対しては。

答弁 飼料の高騰、農業者の高齢化等の理由で、今後も減少することが推測されます。こうした中でも畜産経営を拡大している農業者もいることから、関係機関と連携を図り支援してまいります。

◆防災訓練について

質問 防災訓練の総括について。

答弁 大規模な地震を想定し地域住民、消防団、町内企業、各種団体、防災関係機関等あわせて542名の参加のもと訓練を実施しました。訓練の実体験と併せて防災意識の高揚

を図ることができた一方で、反省点も多々あり次回の訓練に生かしてまいります。

質問 今後の訓練計画について。

答弁 次年度も今年度同様の訓練を予定しており、町民への防災意識の普及啓発、自主防災組織の育成・強化に取り組みます。

◆選挙投票率の向上と投票所の見直しについて

質問 投票率向上に向けた取り組みは。

答弁 選挙を身近に感じてもらうため、期日前投票所の立会人を公募により選任しているほか、国県の選挙の際には、街頭で啓発活動を行っています。

質問 青壮年層、特に18歳の投票率向上に向けた取り組みは。

答弁 町内の中学・高校生の生徒会役員選挙に際し、実際の選挙で使用する投票箱を貸し出すなど、若年層が関心を持てる取り組みを続けています。

質問 特別養護老人ホーム施設内での投票対応について。

答弁 不在者投票制度の利用により、歩行困難な方でも施設において投票できるようになっています。

質問 期日前投票制度の一層の充実と投票所数の見直しについて。

答弁 期日前投票利用率の増加などにより、当日投票者数1000人に満たない投票所が多数存在することから、当日投票所の再編計画の策定を進めており、様々な事情を総合的に勘案しながら見直してまいります。

令和5年12月
定例会より

あれからどうなった？

一般質問のその後は

月2回トレナーを配置、 楽しく健康づくり



トレーナーから指導を受ける利用者

町では、健康増進事業として、令和6年6月から月2回（第一水曜日は午後1時から、第二水曜日は午後6時半から2時間）、温水プールの軽運動場にトレナーを配置しております。12月末現

在、のべ89人の利用がありました。軽運動場（温水プール利用含む）の利用料金は、65歳以上の方は無料、64歳以下は440円、高校生は220円（要保護者の同意）です。

「体力をつけたい」「理想の体型をめざしたい」「トレーニング機器を使ってみてみたい」など、健康や機器を使った運動に関心のある方は、利用してみたいかがですか。
※問い合わせ先：(26) 8416 健康増進係

観光物産協会を法人化し「SAKURARAINZE」設立



地域商社 SAKURARAINZEのロゴ

令和5年12月に一般社団法人地域商社SAKURARAINZE（サクラライズ）を設立し、令和6年4月から歴史民俗資料館（イシニクル）内に事務所を設けて事業を開始しています。

民間のマネジメント力を取り入れ、今ある資源を最大限に利用した商品開発や販路拡大を行い、得られた知見や収益を地域に還元することで、「地域の稼ぐ力」を向上させたいと、今後は地域おこし協力隊制度を活用し町外からの人材も受け入れながら、町と連携し観光物産の振興に向けた事業推進を図っていきます。



オリジナルブランド第1弾となるお土産ラーメンを開発

報告します 議会の活動

文教厚生常任委員会所管事務調査(10月29日～30日)

委員7名が、令和6年4月に移転オープンした歴史民俗資料館の運営等に係る政策提言や、今後の委員会活動の参考にするため、岐阜県中津川市のストーンミュージアム博石館及び中津川市鉱物博物館で、所管事務調査を実施しました。



石川地方町村議会議員研修会(11月8日)

令和6年度石川地方町村議会議員研修会がマーヴェラス末広で開催され、議員13名が参加し、福島大学行政政策学類 準教授 岸見太一氏の講演「地方議会とハラスメント」を受講しました。



総務産業建設常任委員会所管事務調査(11月11日)

委員6名が、福島市の社会福祉法人青葉学園において、高齢者が地域で、より豊かに暮らせるための交通手段の一つとして、福島市土船地区で2021年4月から開始された「土船おでかけサポート」について所管事務調査を実施しました。



県立石川高校生との意見交換会(12月20日)

前回の意見交換会で出た意見を集約した中からテーマを絞り、“県立石川高校の魅力アップ”「将来も県立石川高校が存続するために必要なこと」について、県立石川高校生と意見交換会を実施し、議員(実行委員会委員)7名が参加しました。



未来に向かつて

・ 高校生の声

県立石川支援学校

2年 渡辺 光
わたなべ ひかる

将来の夢



私は、リオン・ドール石川店で現場実習をしてきました。リオン・ドール石川店では、野菜の袋詰めや商品補充、前出しなどをしました。野菜の袋詰めでは、同じ重さに量って袋に入れたり個数に気を付けて

て入れたりしました。商品補充では、賞味期限を確認しながら並べました。奥の商品が取りにくくて、整えるのが難しかったです。今回実習をして「大きな声で会話をする」という課題ができたので、学校生活の中でも気を付けていきたいと思っています。

私は、実習で学んだことを生かして企業に就職し、自立できるようにになりたいです。そして、石川町に少しでも

も貢献できるように頑張りたいです。



県立石川高等学校との交流活動

県立石川支援学校

1年 生田 陽
なまため はる



石川高校の皆さんはポッチャがとても上手でしたが、とても楽しく有意義でした。また共にやりたいと思いました。



編集後記

例年にはない災害が相次いだ2024年。いま必要とされている備えを改めて考えさせられました。

2025年は巳年。「再生と変化」を意味します。蛇の生命力のように、町民の皆様とともに「努力を重ね、物事を安定させていく」よき年にしたいものです。 迎 茂城

議会インターネット中継

町議会では、本会議のライブ映像及び録画映像を配信しています。町ホームページを經由してYouTubeで視聴することができますので、ぜひご覧ください。ホームページへはこちらの二次元コードからアクセスできます。



議会を
傍聴しませんか
3月定例会
「一般質問」は
3月10日(月)の
予定です。

- 議会広報
常任委員会
- 委員長 根本 重泰
 - 副委員長 増子美知夫
 - 委員 迎 茂城
 - 委員 水野谷常子
 - 委員 星 恵子
 - 委員 角田 保寿

